

1000km 以上離れた東京-長崎間でドローンの遠隔操作を実施 ～長崎県五島市における離島間無人ドローン物流の第二期実証を行います～

- ◆ 羽田空港から 1000km 以上離れた長崎県五島市にあるドローンを遠隔操作
- ◆ 本事業は内閣府地方創生推進交付金事業ドローン i-Land プロジェクトの一環として実施



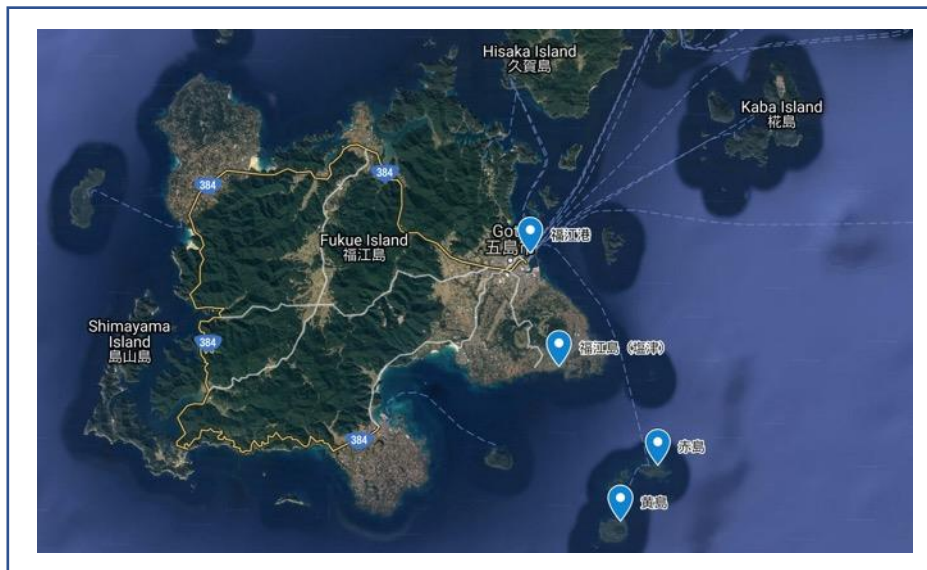
ANA ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:片野坂 真哉、以下「ANAHD」と五島市(市長:野口 市太郎)は、株式会社自律制御システム研究所(本社:千葉県千葉市、代表取締役社長:太田 裕朗、以下「ACSL」)、株式会社 NTT ドコモ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉澤 和弘、以下「ドコモ」)、株式会社プロダクションナップ(本社:長崎県長崎市、代表取締役社長:仁田 豊文、以下「NAP」)の協力のもと、長崎県五島市における有人島間にドローンを用いた物流網を構築し、二次離島地域住民の生活利便性を向上することを目指したドローンによる物流の実証(第二期)を実施いたします。期間中、羽田空港内に設置した遠隔運航管理拠点より、1050km 離れた長崎県五島市のドローンを遠隔で管理する実証も行います。

◆実証実験概要

- (1) 日時: 第1期検証 2019年9月25日(水)～10月4日(金):(実施済み)
第2期検証 2020年1月8日(水)～1月17日(金)を予定
- (2) 飛行区間: 福江島～黄島および赤島
- (3) 運搬物: 生活用品、食品、医薬品等を予定
- (4) 黄島および赤島について

赤島: 福江島の南、約7km沖に位置する有人島。福江港からは約15km、定期船で30分程度。商店、水道はなく、福江島から食料等を取り寄せるか福江島に買い物に出る。昭和30年には350人以上の人が暮らし、伊勢海老等の漁が盛んだった。現在は、美しい自然に囲まれた島で雨水を貯水して10世帯13人が生活をする。

黄島: 福江島の南、約8km沖に位置する。定期船が1日に2回、福江-赤島-黄島と結ぶ。島内には商店が一軒と民宿が2軒あり、水道も整備されている。昭和30年には約650人いた島で現在は、25世帯35人が生活する。釣りの聖地と言われる五島の中でも、釣り客が集う。翼の王国では猫島として紹介された。



◆各社の主な役割

- ANAHD: ドローンの運航管理（本事業の受託事業者）、協議会事務局
- ACSL: 機体の提供および運航サポート
- ドコモ: ドローンの上空飛行に係る LTE ネットワークの提供、および docomo sky™(ドコモ スカイ)の運航支援基盤による上空の電波状況を考慮した運航計画の策定支援
※「docomo sky」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。
- NAP: 運航サポート
- 五島市: 本事業の発注者。検証対象となる地域及び関係者との調整等

◆本事業について

五島市は 11 の有人島と 52 の無人島からなる地方自治体。住民サービスの観点から離島部の利便性の向上を目的とし、この 11 の有人島間の物流の将来にドローン物流の実運用を目指し、さらには雇用の創出を目指す事業を平成 30 年度から実施。平成 30 年度は奈留島－前島間の物流実証において、人口 24 人の前島に模擬薬と食料品の輸送を試みました。

令和元年度事業では、五島市無人物流協議会（仮称）を設立し、発注から受け取りまでの仕組みの検討及び検証、ならびに市内でドローン物流オペレーションを担う人材を育成し、将来的な市内離島部でのドローン物流の実用化を目指します。

尚、本事業は内閣府地方創生推進交付金事業ドローン i-Land プロジェクトの一環として実施されま

す。

以上

お問い合わせ先

- ◆ANA ホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111
- ◆五島市 地域振興部 商工雇用政策課 雇用・起業促進班 0959-72-7862